

鬼ノ城のふところ『月の村』の村開き中間報告
月の村の会 ☾



4月～10月まで会員3名業務委託者1名による
草刈り、倒木除去、道付け作業



作業前



作業後



作業前



作業後





5月19日、月の村の森のヨガ
～いのちのエッセンス～



6月～『新山と月の村』の看板製作

新山と月の村

総社市黒尾のここ新山地区は、歴史に登場するは史書『鬼ノ城縁起』延長元年(923年)にさかのぼり温羅伝説にも登場します。また平安時代から室町時代には、新山から岩屋にかけて大規模の山上伽藍地として数百年にわたる仏教霊場となっていました。鬼ノ城縁起を書いたとされる圓會もまた新山菩提寺の僧侶でした。

成尋阿闍梨、定秀上人など時の高僧もここで修行し、『鬼の釜』は当時新山の湯釜谷にあったとされ重源によって作られたともいわれ、その繁栄を偲ばせます。

新山寺は室町時代末期に経山城が尼子勢に攻められ、兵火によって伽藍の大半を焼失し衰退していき、今残るは鬼の釜に当時の礎石と瓦、語り継がれた史書のみとなっています。

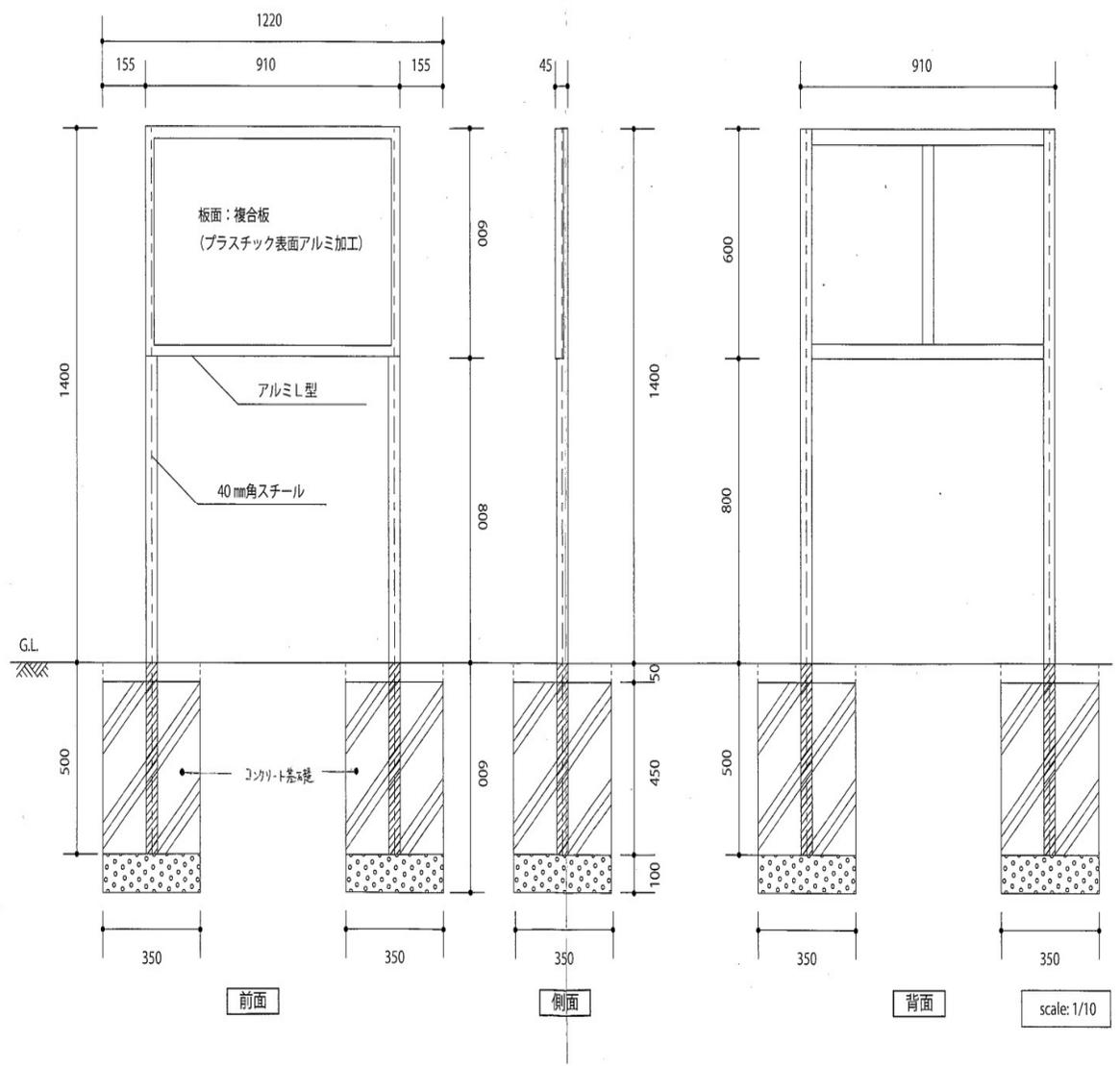
月の村は、その埋もれたかつての聖地に人と自然と社会がつながる新しい村づくりを実践しています。歴史に想いをはせ、月の村へ訪れてみませんか

総社市市民提案型事業 月の村の会

行為地付近の状況（空中写真）



■ 看板案



今後の取り組み 10月6日、食べられる野草宝探しと野草粥in月の村



10月14日、大地と響き合うライブ&ドラムサークル



11月10日、本格竹細工ワークショップ



1月、火起こしワークショップ



2月、お山お手入れ共同作業



実践しての成果

- 草刈りに会員の他に作業委託者に依頼することで、夏場の草木の勢いにも追いつくペースで活動場所を維持することができました。
- 山歩きの方々にも道がついていて歩きやすい、道に迷っていたがわかりやすくなったと喜ばれています。
- 5月の森のヨガでは参加者の半数が子供づれで来られ、親子で安心して自然と身体を体感し元気になったと喜ばれました。
- 6月から看板設置のため、新山の歴史を研究されているの方々、地域の方々と繋がることができ、皆様のご協力をいただき設置の許可がおりました。
- 月の村へ足を運ぶ人が人伝に増えてきました。

課題点

- 森のヨガの予定日が雨天だったため一週間後に延期となり、参加者も5,6名が不参加となりました。今後天候のため雨や日よけにもなるテナントの相談中。ウッドデッキのような場所が必要なので。
- 市民提案型事業の認定後に企画したイベントの講師に依頼したため、講師料の交渉に予算との差額がでてしまい、参加費が高くなってしまった。
- 「新山と月の村」の看板が設置されることにより、新山へ歴史的関心で訪れる方が予想されること、鬼釜の整備がまだ手が回らずに、こころや礎石のある場所などや山道の整備がまだ手が回らないこと。

市民提案型事業に認定されたことにより、できることが広がり、地域との繋がりも深まり、広く活動を知ってもらうことができています。今後の活動も地域の自然環境を保全するとともに、地域内外から安心して遊び学び癒され育まれる総社の元気になる場所の一つとして、郷土への誇りや愛着を感じていただけにように続けていきたいです。
この事業に総社市に感謝いたします。

ご清聴ありがとうございました 🌙